

JAグループでは平成24年11月に開催された第31回JA島根県大会において、次の5つの柱を決議し、「島根の次代へつなぐ革新的協同の創造」にむけて取り組みを行うこととしました。

1. 持続可能な島根農業の実現
2. 豊かで暮らしやすい地域社会の実現
3. 地域に根ざしたJA運営による役割発揮
4. 1県1JAの実現に向けた組織整備の完遂
5. 食糧・農業・農村・JAについての県民理解の醸成

この方針のもと、系統信用事業については平成25年度を始期とする「JAバンク島根中期戦略」に基づき、食と農を基軸として地域社会に貢献し、存在感を発揮するJAバンクの実現をめざす「JAバンク島根 ブランドイメージアッププラン」に取り組んでいます。

特に、平成27年度においては、次の5点の重点実践事項からなる「JAバンクしまね 県域戦略」を定め、JAでの取り組みを支援しています。

## 1 利用者基盤の拡充・再構築に向けた取り組み

- JAバンクの専門性を活かした農業金融サービスの提供により、農業メインバンクとして他業態の追随を許さない地位を堅守します。
- 平成27年度JA貯金1兆円達成に向け、個人貯金の増強等に取り組めます。
- また、組合員子弟等との関係構築、相続相談機能の強化等により、大口利用者・次世代ニーズに応え、利用者基盤を拡充・再構築します。

## 2 事業運営態勢の変革

- 組合員・利用者ニーズに立脚したCS活動による利用者目線での生活金融サービスを提供します。
- JAの規模・地域特性等に応じた適正な地域（エリア）での営業態勢を構築するとともに県域センター機能を充実し、JAと信連との県域共同運営態勢を一層強化します。

### 3 健全性確保

○不祥事にかかる風評リスクの高まり等を踏まえ、経営管理や内部統制の強化を含め、経営改善に向けた主体的な取り組みができる態勢の確立に取り組みます。

### 4 基盤インフラ

○JAバンクの基盤を支えるインフラとして、JASTEM新システム構築に向けた準備に取り組みます。

### 5 地域・社会への貢献

○全国施策であるJAバンクアグリサポート事業の取り組みをすすめます。

○JAで行っている地域・社会貢献の情報発信につとめます。

